

平成 28 年度 事業計画

はじめに

活力に満ちた明るい高齢社会を築くためには、高齢者が意思と能力に応じて社会生産活動に参加することが益々重要です。

シルバー人材センターでの高齢者の雇用が、社会に役立つ活動に参加することにより健康が保持され、高齢者の生きがいの充実、地域社会の活性化及び、医療費負担の抑制効果等に大きな副次的効果に繋がる面もあると類推されます。

働いてお金を得るだけでなく、社会貢献もセンターの理念の一つで、年を重ねるほど元気な会員は、社会に参画したい何か自分が役立ちたいと思う心が湧いてきます。シルバー人材センターは、保育園や幼稚園などで、草刈り、窓ふきなどの『ボランティア活動』も引き続き行います。今まで、世の中を担ってくれた方々に、元気なうちは支える側に回るワンコイン運動なども展開し、愛される・頼りにされるシルバー人材センターを目指します。

センターにとって新規事業の拡大は容易ではありません。昨年度から皆様方の理解と協力を得、派遣事業に取り組んでいるところです。そして、独自事業の検討とさらなる経費の削減に努め、将来に向かって安定した財政運営ができるよう事業の伸長を図ります。

平成 28 年度は、このような状況を踏まえ、生きがいを持ちつつ、多様なニーズに対応した就業機会を地域において提供する拠点として、時代の要請に応えることができる課題や展望を考察し、次のような事業に取り組んでまいります。

1. 就業に関する情報の収集と提供

センターに活力を与え発展する源として、会員の増加と就業の場の拡大が必要であります。

- (1) 稲美町、播磨町、兵庫県、全国シルバー人材センター事業協会、兵庫県シルバー人材センター協会、その他関係団体等の組織を通じて情報を収集し、会員に提供を行います。
- (2) 一般家庭、民間事業所、公共団体等から就業に関する情報の収集に努めます。
- (3) 年 2 回発行の会報「シルバーだより」を稲美町・播磨町内の全戸に配布し、情報の発信を行い、会員の募集と仕事の確保に努めます。
- (4) 事務局通信を発行し、情報の提供に努めます。

2. 就業相談等の実施

- (1) 入会説明会等を通じて、入会の促進と就業相談業務を進めます。
- (2) 未就業会員を対象にミスマッチの解消を図るとともに、随時就業相談を実施します。

3. 就業機会の開拓及び提供

センターの趣旨及び事業の目的や内容などの周知を図り、理解を得ながら仕事の開拓に努めます。

- (1) 一般家庭、民間事業所、公共団体等への就業開拓の展開を図ります。
- (2) 現在、実施している独自事業の充実と新たな独自事業の取り組みについて、引き続き調査、研究を行うとともに可能な事業から取り組み就業機会の拡大に努めます。
- (3) 常にワークシェアリング・ローテーションに取り組み、基本理念とする「共働、共助」の具現化に努め、「公平な就業機会」の確保に努めます。

- (4) 掲示板等を活用して、就業情報の提供に努めます。
- (5) 会員一人ひとりが就業開拓員として、身近なところからの就業拡大に努めます。
- (6) 退会会員の減少を図るため、高齢会員等の就業のあり方や新たな会員制度などについて検討を行います。

4. シルバー派遣事業の実施

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又は、その他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に、シルバー派遣事業を実施します。

5 有料職業紹介事業

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又は、その他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に、職業紹介事業を実施します。

6. 技能研修及び講習会の実施

親切・丁寧な仕事は、センターの事業推進にはなによりも大切なことです。このためには、会員のマナーの向上と技能の向上が必要で、引き続き講習会などの開催に努めます。

- (1) 就業先でのマナーによるトラブルの未然防止を図るため、マナー向上に係る講習会を開催します。
- (2) 会員の技能の向上及び就業意欲の高揚を図るため、技能研修会・講習会等を実施します。
- (3) 就業時に就業マナー等について、発注者から苦情等があった場合は実情を調査するとともに、適切な対応に努めます。

7. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員会の取り組みの充実を図り、会員の安全・適正就業の推進に努めます。

- (1) 会員の就業中、就業途上における事故や怪我の発生を防ぐ取り組みの充実を図ります。
- (2) 会員の就業環境や就業状況を確認するため、安全・適正就業推進委員会委員による「安全パトロール」を実施します。
- (3) 安全就業の一層の推進を図るため、世話人による現場での内容確認の徹底と会員への周知を図り、危険と判断する就業は引き受けないなど安全な作業の徹底に努めます。
- (4) 交通安全意識を徹底するため、加古川警察署の協力を得て、交通安全講習会を開催し、交通事故を起こさない、事故に遭わない運動を展開します。
- (5) 会員の命を守る一つとして、消防署の協力を得て、「救命講習会」・「AED」(自動体外式除細動器)の取扱い講習会を、引き続き開催します。
- (6) 就業中に交通事故を起こさない取り組みの一つとして、センターの自動車運転に係る会員の自動車運転適性検査の受講を、引き続き実施します。
- (7) 安全就業推進の一環として「安全標語」の募集を行い、その活用を図ります。

8. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの仕組みや事業内容について、いまだによく理解が得られていない面があることから、各家庭や各種団体等に広く周知を図る必要があります。

- (1) 各家庭等にチラシなどを配布するとともに、理事が中心となって、会員の確保や就業の拡大に努

めます。

- (2) シルバー人材センターの PR 活動の一環として、「夏休みこども勉強教室」や「絵画教室」など各種事業を継続して実施するほか、様々な取り組みの検討を行い可能なものから実施します。
- (3) 新たな就業の開拓や会員の募集を図る一つとして、常にホームページの充実を図り、最新情報の提供に努めます。
- (4) 新たな家事支援事業などの取り組みにあたっては、女性会員の拡大は不可欠であり、情報提供のため、女性会員による集会等を、積極的に開催します。
- (5) 会員が有する様々な趣味や特技・能力などの再調査を行うとともに、これらを生かした事業展開に努めます。

9. 事務事業等の見直し

- (1) センターの運営が厳しい状況となりつつあることから、引き続き事務事業の見直しを図ります。
- (2) 事務改善の一つとして、会員が取扱可能な事務について検討を行い、順次会員の協力を求めて行きます。
- (3) 会員・役員・職員が一体となって組織の充実発展に取り組みます。

10. その他の事業

- (1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、日帰りバス旅行を実施します。
- (2) 会員に健康管理に関する情報の提供と“自分の命は自分で守る”をモットーに、健康診査等の受診の勧奨、健康講座の開催のほか、看護師による健康相談業務を推進します。
- (3) 年 2 回発行の会報紙「シルバーだより」について、より多く会員からの投稿などを取り入れるなど内容の充実に努めます。
- (4) イベント等へ積極的に参加をし、独自事業の展示・即売のほか、センターの PR や会員の確保などに努めます。
- (5) 情報開示について、税理士による諸帳簿類の確認及び指導を受け、より適正化を図るとともに個人情報厳格化を徹底します。
- (6) 理事会の活性化を図り、理事による主体的な活動に取り組みます。
- (7) 専門委員会としての安全・適正就業推進委員会、広報委員会、総務委員会のほか支部理事会等を適宜開催し、センターの充実発展に努めます。
- (8) 地域貢献とシルバー人材センターの PR を図る一つとして、ボランティア活動を実施します。
- (9) 仕事の満足度について、発注者へのアンケート調査を実施します。
- (10) センターの健全な運営のための調査及び研究を実施します。

平成28年度 収 支 予 算 書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)					(単位：千円)
科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計 (共益事業)	法人会計	合 計	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受託事業収益	253,976	634	13,486		268,096
受取配分金	215,200	0	0		215,200
受取材料費等	19,700	0	0		19,700
受取事務費	19,076	634	13,486		33,196
受取会費	732	366	366		1,464
正会員受取会費	732	366	366		1,464
受取補助金等	26,343	0	0		26,343
受取連合交付金	13,171	0	0		13,171
受取播磨町補助金	6,586	0	0		6,586
受取稲美町補助金	6,586	0	0		6,586
労働者派遣事業等受託収益	1,310	0	0		1,310
職業紹介事業受託収益	20	0	0		20
指定管理受託事業収益	22,255	0	0		22,255
雑収益	3,440	0	60		3,500
受取利息	70	0	0		70
雑収益	3,371	0	60		3,431
経常収益計	308,077	1,000	13,912		322,989
(2) 経常費用					
事業費	309,147	1,000	0		310,147
支払配分金	213,700	0	0		213,700
支払材料費等	14,200	0	0		14,200
給料手当	31,850	0	0		31,850
臨時雇賃金	2,100	0	0		2,100
法定福利費	5,850	0	0		5,850
退職金掛金	2,698	0	0		2,698
福利厚生費	179	0	0		179
旅費交通費	165	0	0		165
通信運搬費	1,026	0	0		1,026
減価償却費	95	0	0		95
会議費	100	0	0		100
什器備品費	900	0	0		900
消耗品費	1,540	0	0		1,540
修繕費	4,950	0	0		4,950
印刷製本費	1,570	0	0		1,570
光熱水料費	7,550	0	0		7,550
賃借料	5,490	0	0		5,490
保険料	3,450	0	0		3,450
諸謝金	10	0	0		10
租税公課	2,550	0	0		2,550
支払負担金	39	0	0		39
委託費	4,880	1,000	0		5,880
教材費	20	0	0		20
支払手数料	23	0	0		23
作業適応訓練費	20	0	0		20
貸倒損失	384	0	0		384
賞与引当金	2,553	0	0		2,553
雑費	1,210	0	0		1,210

					(単位：千円)
科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計 (共益事業)	法人会計	合 計	
管理費			13,912	13,912	
役員報酬			1,300	1,300	
給料手当			7,010	7,010	
臨時雇賃金			230	230	
法定福利費			1,260	1,260	
退職金掛金			576	576	
福利厚生費			31	31	
会議費			620	620	
役員等旅費交通費			200	200	
旅費交通費			30	30	
通信運搬費			224	224	
減価償却費			0	0	
什器備品費			80	80	
消耗品費			220	220	
修繕費			300	300	
印刷製本費			150	150	
光熱水料費			130	130	
賃借料			330	330	
保険料			100	100	
諸謝金			0	0	
租税公課			290	290	
支払負担金			321	321	
委託費			190	190	
支払手数料			20	20	
支払委託金等返還			0	0	
支払利息			0	0	
雑費			300	300	
経常費用計	309,147	1,000	13,912	324,059	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,070	0	0	△ 1,070	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 1,070	0	0	△ 1,070	
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	
(1) 経常外収益	0	0	0	0	
固定資産売却益	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	
固定資産売却(除却)損	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,070	0	0	△ 1,070	
一般正味財産期首残高	39,412	0	△ 9,486	29,926	
一般正味財産期末残高	38,342	0	△ 9,486	28,856	
II 指定正味財産増減の部				0	
III 正味財産 期末残高	38,342	0	△ 9,486	28,856	